

Passport

2019 AUTUMN Vol.42

男らしさ、女らしさにとらわれず、自分らしく暮らせる社会。お互いに認め合い、個性と能力を発揮できる佐賀市の実現をめざしましょう。



さよなら! ハラスメント

CONTENTS

- ・2019男女共同参画週間記念フォーラム／
もっと知ろう!多様な性のこと P1~2
- ・男女共同参画とSDGs P3~4
- ・男女共同参画推進協賛事業所の紹介 P5
- ・家事ギャップ解消セミナー P6
- ・研修報告 P7



家事ギャップ解消で

夫婦円満☆



2019 男女共同参画週間記念フォーラム

さよなら! ハラスメント

開催日: 令和元年6月23日(土)
会場: アバンセホール

佐賀県立男女共同参画センターとの共催で、講師にエッセイストでタレントの小島慶子さんを迎え、ハラスメントについての講演会を開催しました。

市内外から304名の参加者が聴講されました。講演後は、小島さんのサイン入り著書が当たる抽選会も行われ、会場はたいへん盛り上がりました。

講演の内容を紹介します。



小島 慶子さんプロフィール

オーストラリア生まれ。
TBSにアナウンサーとして入社。第36回ギャラクシーDJパーソナリティ賞を受賞。2010年にTBSを退社後、各種メディア出演や、エッセイ・小説等の執筆、講演活動を行っている。2014年オーストラリア・パースに移住。日本に仕事のベースを置き、日豪を行き来する生活を送る。
著書:「さよなら!ハラスメント」(晶文社)、「解縛一母の苦しみ、女の痛み」(新潮文庫)など多数

〈アナウンサー時代〉

自分が育った家庭や、学生時代に男女差別を感じたことはありませんでした。就職しても差別はないと思っていましたが、女性アナウンサーは、能力や実績よりも容姿や人気で評価されることが多く、たまに番組の中で意見を言うと、生意気とか出しゃばりとか言われることにショックを受けました。

男らしさ・女らしさを押し付ける社会のロールモデルになることに疑問を感じました。恵まれた経験もいろいろありましたが、最終的には15年勤めた会社を退社しました。



〈夫が仕事をやめた時〉

2013年に夫が仕事を辞めた時、「2人で仕事と家庭の両立をやってきたのに、それを降りるの?妻の収入をあてにするなんて、男のくせに・・・」と覚えてしまいました。私も男性に対する偏見を持っていることに気付いたのです。「稼いでいて、肩書があるほうが偉い。相手にひどいことを言っても許される」という価値観に知らぬ間に染まっていました。また、(従来、男性が担ってきた)一家の生活費を一人で稼ぐという立場の息苦しさ、しんどさ、不安がわかりました。



▲小島さんのサイン入り著書が当たる抽選会も行われました

〈失敗を学びに変える〉

ハラスメントとは、強い立場の人が弱い立場の人に対して無理強いや傷つけるような言動をしたり、不利益な扱いをしたり、脅威を与えたりすることです。悪気なくやった言動でも、相手が辛いと感じたならまずは謝って、どう言えばよかったのか、何がいけなかったのかを話し合っって謙虚に考えましょう。

大切なのは、弱い立場の人が相談できる場所を作ることと、加害者とされた側の言い分も聞くために、第三者が介入する仕組みを作ることです。失敗から学ぶのと、「気にするほうが悪い」と開き直るのでは全く違います。

〈ハラスメントのない社会に向けて〉

ハラスメントを減らすには、相手のことを真剣に知りたいと思うことが大切です。それでも失敗したら、今までの習慣を改めましょう。そこからしかハラスメントのない世の中に近づくことはできません。多様な社会では、「対話」が解決策と言えます。

参加者の声

- ・普段ハラスメントについて考えたことがなかったので、小島さんの講演を聞いて改めて考える良い機会となった。
- ・ハラスメントが、男性から女性に対してのものだけではなく、男性の生きづらさについての話もあり、感動した。
- ・ハラスメントを気にして、何も話せないと思っていたが、対話によって気づき、学びによって改めることができることを知った。

【講演を聴いて】

自分の言動で相手を傷つけたと思ったら、素直に自分から謝る気持ちをもつこと。また、失敗から様々なことを学び、その学びを自分の成長に変えていくことの大切さを小島さんの講演から学ぶことができました。

編集委員 椛島陽一郎・草場栄美

ハラスメントいろいろ

セクシュアル ハラスメント	性的な言動に対する労働者の対応(拒否や抵抗)により、労働者等が客観的に見て不利益を受けることや労働者の就業環境が不快になり、能力の発揮に重大な悪影響が生じるなど支障が生じること。 ※同性に対するものも含まれる。
ジェンダー ハラスメント	女らしさや男らしさというもので判断して差別的な言動を浴びせたり、相手を非難したりすること。
マタニティ ハラスメント	女性の出産・妊娠を理由に、職場で精神的・肉体的ないじめや嫌がらせを受けたり、解雇や雇止めなどで不利益を被ったりするなどの不当な扱いを受けること。
パタニティ ハラスメント	男性が育児を通して父性を発揮する機会や権利を、職場の上司や同僚が侵害する言動。
パワー ハラスメント	同じ職場で働く人に対して、職務上の地位や人間関係などの職場内の力関係(優位性)を背景に、業務の適正な範囲を超えて精神的・身体的苦痛を与える、又は、職場環境を悪化させる行為。
ケア ハラスメント	家族の介護をしている介護者に対して、仕事と介護を両立しようとする状況への嫌がらせ。
モラル ハラスメント	相手に精神的な苦痛を与えることを目的として行われるいじめや嫌がらせのこと。言葉や態度によって相手の人格、尊厳を傷つけ、精神的な苦痛を与える行為。
カスタマー ハラスメント	消費者の自己中心的で理不尽な要求によるハラスメントのこと。

ハラスメントへの対応

自分の行為がハラスメントだと指摘されたとき

- 1 ハラスメント行為を**すぐにやめる**
- 2 自分の行為、日常的な**言動を検証する**
- 3 迅速かつ誠実に**謝罪する**

ハラスメントの被害を受けたときは?

- 1 **記録をつける**
・いつ、どこで、誰から、言動、目撃者
- 2 **相談する**
・相談窓口、カウンセラー、公的機関、弁護士
- 3 **能率が下がる、食欲がない、眠れない**
・環境を変える(休職、異動、休学等)
・専門医に相談

相談先

- 職場でのハラスメント**
・佐賀労働局 (駅前中央3-3-20)
☎0952-32-7167
- 職場以外のハラスメント**
・法務局みんなの人権110番
☎0570-003-110
・人権・心配事相談 (佐賀市)
☎0952-40-7085 火曜13:30~16:30

誰もが自分らしく生きるために… もっと知ろう!多様な性のこと



▲飯田さんイラスト

7月5日、「性別で見る多様性と人権～性別とか恋愛ってこんなに広いの!?!」と題して、ダイバーノン代表の飯田亮瑠^{いいたあきる}さんの講演会を開催しました。約300名の参加があり、性の多様性について理解を深めてもらいました。
クイズや参加者へのインタビューなど会場全体を巻き込み、講演会はたいへん盛り上がりました。性の多様性や自分の性のことを考えるよい機会となりました。

【講演会参加者の声】

- ・飯田さんの話 本当に考えさせられました。人を人として見る、その人をその人として見ることの大切さ。くくって見ないのがいいのかなと思いました。
- ・とてもわかりやすく話されて聞きやすかったです。性の多様化、性の大切さを感じました。
- ・学んだ事を活かし、差別につながるような言葉を改め、誰もが生きやすい社会にするために協力したい。話を聞いてあげられる人になりたいと思いました。

★もし、自分の性のこと (LGBT であることなど) を打ち明けられたら…

- ①最後まで話を聴きましょう。否定はせず、相手を感じている気持ちを受け止めましょう。
- ②「言ってくれてありがとう。」あなたを信頼して打ち明けてくれたことに、感謝を伝えましょう。
- ③既に話した人はいるのか、誰に話していいのか、相手に確認しましょう。
本人の了解なく、周りの人に勝手に話すこと (アウティング) は絶対にやめましょう。
- ④対話の中で、お互いに心地よいコミュニケーションを考えていきましょう。
「何かできることある?」「もし傷つけるようなこと言ったら教えてね」「これからもよろしく!」



男女共同参画とSDGs

SDGsがめざすもの

地球環境を守りながら、生活向上のための開発を両立するため、2015年9月に国連サミットで採択された「SDGs=Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」。

先進国、発展途上国が一丸となり、2016年から2030年までに達成するために掲げた17の目標です。

日本では2018年が「SDGs元年」、2019年は実践の年とも言われています。SDGsは世界規模の取り組みですが、佐賀市が抱える課題と重なり、地域の課題そして地域に生きる私たち一人ひとりの課題でもあります。男女共同参画の視点からも、目標とその取り組みについて考えていきたいと思えます。

SDGs17のゴール(目標)



1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を実現しよう



6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさを守ろう



16 平和と公正をすべての人に



17 パートナースhipで目標を達成しよう

ゴール5 ジェンダー※ 平等を実現しよう!

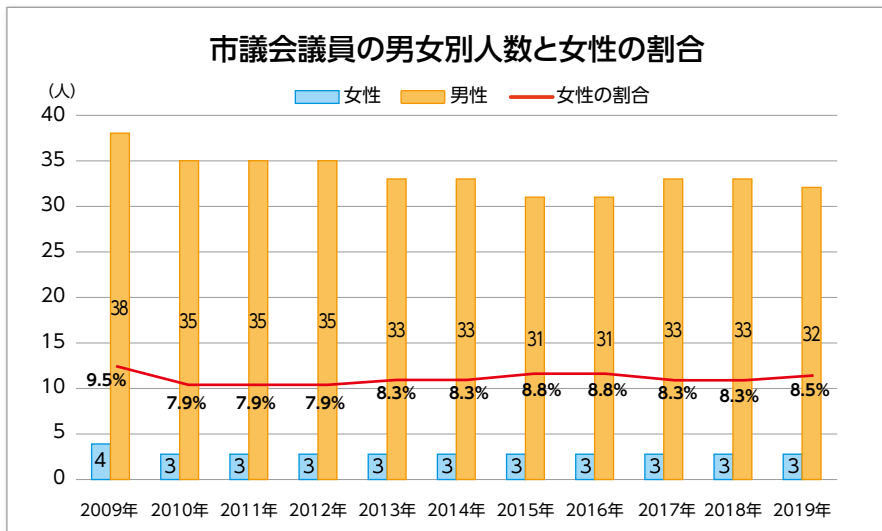


上記のゴールの中で、男女共同参画と特に関連深い「**ゴール5 ジェンダー平等**」は、女性が性を理由に差別されないようにし、社会的に男性同等の力を持つための取り組みを意味しています。

この中でも「**5 ジェンダーの平等**」は、日本の最大の課題と指摘されている目標の1つでもあります。評価項目では、女性国会議員の少なさ、男女の賃金格差、家事などの無償労働を行う時間の男女格差などが「最大の課題」とされています。

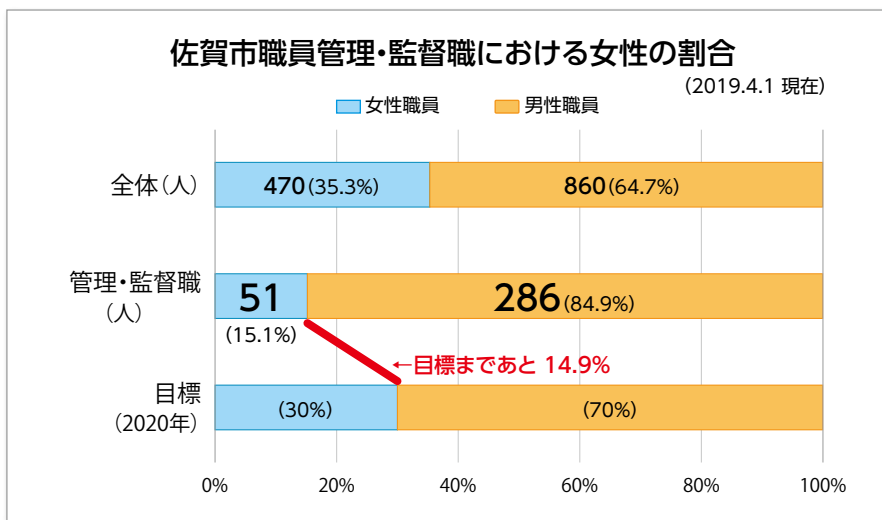
※「ジェンダー」…人間が生まれついてもっている「生物学的性別」とは別に、社会的・文化的に作り上げられた「社会的性別」のことをいう。社会や文化によって作り上げられた『女は女らしく／男は男らしく』とか『女は／男は、このように行動すべき』というような意識や慣習。

佐賀市の男女共同参画に関する現状と課題をみていきましょう



佐賀市の人口は男女ほぼ同数ですが、女性の議員数は圧倒的に少ないのが現状です。女性の視点や声を議会に反映させ、誰もがより暮らしやすい佐賀市にするためにも、女性の議会への参画がもっと必要です。

- ★佐賀県議会 5.3%
- ★国会議員 10.2%



国は、2020年までに社会のあらゆる分野において指導的地位に占める女性の割合を30%にするという目標を掲げています。

しかし佐賀市の管理・監督職においても、目標に達していないのが現状です。



- ※管理・監督職
…部長級、副部长級、課長級、副課長、係長

目標達成のために、わたしたちにできることは何？

- ★家事や育児を性別に関係なく平等に分担する
- ★「女だから」「男だから」という考え方をしていないか考えてみる
- ★地域の役員や会長などの役割分担を男女平等にする
- ★身の回りのジェンダーの不平等がないかさがす



お知らせ 目標達成のための佐賀市の取り組み (楽しく学びましょう!) ※アバンセ共催

- より多くの女性に、政治や議会への関心を持ってもらうために。。

「政治参画セミナー」

- ★日時：11月21日(木) 18時30分スタート
- ★場所：佐賀女子短期大学
- ★内容：お茶の水女子大学ジェンダー研究所 申きよん准教授による講演会
「女性議員が増えると暮らしが社会が変わる ~議会に多様な声を届けるために~」
- ★対象：どなたでも (男性もOK!)

男性にもっと家事に関わってもらうために。。

「パパの料理教室 & 夫婦で家事シェア講座」

- ★日時：12月15日(日) 10時スタート
- ★場所：ほほえみ館
- ★対象：夫婦または男性同士のペア
- ★内容：家事シェア、時短料理に挑戦!

いずれも無料のセミナーです。 申込方法等、お問い合わせは 佐賀県立男女共同参画センター(アバンセ) 電話0952-26-0011 Mail:danjo@avance.or.jp

佐賀市男女共同参画推進協賛事業所紹介

市とともに男女共同参画の推進に積極的に取り組んでいただいている協賛事業所を紹介しします。(五十音順)

有限会社 佐賀情報ビジネス

(鍋島)
情報サービス業



当社は、ITと障がい福祉2部門を経営しております。

月に一度の社員教育をはじめ、報・連・相、PDCAを念頭に置いてスムーズで働きやすい環境づくりを心がけています。家の用事、子どもの病気や学校行事等柔軟に対応し、笑顔のたえないイキイキと自分らしく働ける職場になるよう取り組んでおります。

スズキスタイル 株式会社

(高木瀬西)
自動車販売・整備業



当社は、スズキ車をメインに各種自動車メーカーの新車・中古車の販売、車検、点検、一般整備などトータルで行っている会社です。

社員の休日は平日となりますが、社員が休日を決めて休める体制を作り、子どもの学校行事や地域行事にも参加できるようにしております。残業を減らし、プライベートも充実できるように努力しております。

医療法人 長晴会

(久保泉)
介護事業



女性スタッフが多いこともあり、産休や育児休暇を取りやすい制度を設けております。また産休明けのスタッフが希望すれば、時短勤務が可能で保育園等の送迎に対応できるように支援しています。また、近年では介護休暇を取得する職員もおります。これからもだれもが働きやすい職場をめざして仕事も家庭も充実できるよう支援してまいります。

ふるかわ歯科・ 小児歯科医院

(鍋島)
医療業



当医院には、多くの小児の患者さんが来院されます。食育にも力をいれているため子育てを経験したスタッフの存在は欠かせません。自分の子育ての経験を仕事にも生かせるよう、子どもとの交流時間を確保し、家庭環境向上のため、学校行事や地域行事への積極的な参加を推奨しております。子どもの急病に対しても対応しやすい環境づくりをめざしております。

男女共同参画推進協賛事業所募集中！

事業所での男女共同参画の推進は、従業員の意欲向上や子育て環境の整備など、仕事と家庭生活の両立支援や働きやすい職場づくりに取り組まれている事業所のイメージアップに繋がります。協賛事業所への登録をお待ちしています！

担当：佐賀市人権・同和政策・男女参画課
男女共同参画室

電話：0952-40-7014

FAX：0952-34-4549

申込用紙は佐賀市ホームページからも取り出せます。

詳しくは 佐賀市HP <https://www.city.saga.lg.jp/main/3196.html>



予告

ワーク・ライフ・バランス 推進研修会公開セミナー

◆日時：令和2年2月5日(水) 午後

◆場所：アバンセ研修室

◆内容： 第1部 基調講演

講師 出口 治明さん

(立命館アジア太平洋大学学長)

第2部 事例発表会

市内企業の働き方改革に関する取り組み事例発表



出口治明さん

◆対象：どなたでも

無料

セミナー参加報告

マイナス1歳からのイクカジ推進事業

家事ギャップ解消セミナー

開催日：令和元年9月7日（土）

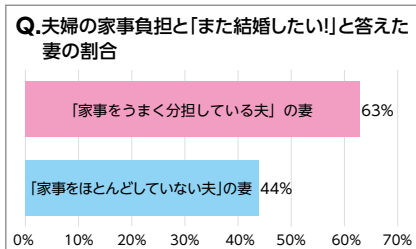
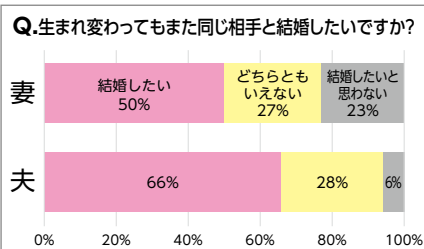
会場：ほほえみ館



『家事ギャップ』とは

……共働きの夫婦が増える中、掃除、洗濯、料理（後片付け）といった家事を分担で行う夫婦が増えている。そんな中、家事の分担の際の負担の不公平さ、また家事に対する考え方や、やり方の違いといったもの。

佐賀市と佐賀県の主催で開催されたセミナーに参加しました。20代から60代の方の12組23名の参加があり、夫婦円満の第一歩を踏み出すコツや具体的な皿洗いの方法を学びました。



家事の中でも『家事ギャップ』が大きいのが「食後の後片づけ」。そのギャップがない夫婦は、また生まれ変わっても同じ相手と結婚したいというデータもあるのだそうです。

夫婦がお互いに同じやり方を学び、つつい目についてしまうマイナスの出来事をポジティブに変換させたり、その家庭のルールブックを作成してみると、夫婦円満に近づくそうです。

知識や認識の違いを理解するために「皿洗いセンター試験」を全員で受けました。回答後はそれぞれのパートナーと答え合わせを行い、お互いの皿洗いに関する知識や認識を知ることができました。



調理場に行くと、豆乳を飲んだ後の汚れのついたグラス、米粒がカピカピに干からびた茶碗、カレーを食べた皿、サラダの食べ残しが入ったままの皿、油が浮いて固まっているフライパンが用意されていました。

実際に洗う前に、まずは作戦タイム。どんな順番で洗うかをみんなで考えました。

みんなで前半で受けた皿洗いセンター試験の知識を生かしながら、あらゆる汚れのついた食器やフライパンを洗い、最後のシンク洗いまで完璧にこなし、完了しました！

めざせ家事ギャップ解消の心得

- 家事全体が見える化するべし。
- お互いの認識や知識の違いを理解するべし。
- 夫婦や家族そろって「わが家の家事ルール」を作るべし。
- 便利な商品やテクニックを使い、上手にやるべし。
- 頑張っているパートナーに感謝を伝えるべし。

【セミナーに参加して】

実際にわが家の家事ギャップを見直す良いきっかけになりました。また、他の参加者からも「普段は面倒で水洗いで終わりなんてこともあったけど、今日からはスポンジ除菌までやろうと思った。」「家事への関心が高まった。」などの意見を聞くことができました。

編集委員 今町真由美

地域における男女共同参画推進リーダー研修報告

2019年5月22日から24日に独立行政法人国立女性教育会館(埼玉県比企郡)で開催された「地域における男女共同参画推進リーダー研修」に参加してきました。今回はSDGs(持続可能な開発目標)の5番目に「ジェンダー平等」が掲げられていることを受け、『男女共同参画推進に向けた取組とSDGs』というテーマで、全国的女性関連施設・地方自治体・団体等に所属するリーダー157名が参加しました。その内容の一部を紹介します。

報告者:男女共同参画課 男女共同参画室 副室長 南雲千寿

■ 基調講演「男女共同参画の歩みとこれから」 講師:名取はにわ(元内閣府男女共同参画局長)



『男女共同参画社会基本法』は平成11年に衆参両院の全会一致で可決されました。さらに参議院議員が超党派で「男女共同参画社会の実現を21世紀の我が国社会を決定する最重要課題と位置づける」と前文も付いています。中学生は公民の授業で「男性も女性も対等に参画し、活動できる男女共同参画社会をつくる」ことが求められている」と学ぶようになりました。

それから19年経ちましたが、日本のジェンダーギャップ指数は149カ国中110位と低迷しています。分野別にみると経済分野は117位で、中でも管理職女性比率は129位と低い状況です。日本はますます人口が減ってきます。それなのに社会に必要な人材としての女性がいかに活躍しにくい国なのかわかります。政治分野は125位で、昨年、政治分野における男女共同参画推進法が出来たので、女性議員の拡大につながることを大いに期待しています。

今年が男女共同参画社会基本法の制定20年となります。日本のお家芸といわれた「追いつけ追い越せ」を復活させ、みんなで男女共同参画社会の実現をめざしていきましょう。

■ SDGsにおけるジェンダー平等の意義と位置づけ 講師:田中由美子(国連女性の地位委員会日本代表)

男女共同参画はSDGsのどこに位置付けられているか

SDGsの17の目標の中で、目標5に「ジェンダーの平等を達成しすべての女性と女の子のエンパワーメントを図る」ことが独立した目標として明記されています。それ以外にも目標1(貧困)、目標3(保健)、目標4(教育)、目標8(経済成長と雇用)、目標16(平和)など多くの目標が男女共同参画社会の実現と関連しています。

どのようにSDGsを活用していくか

- ① 政策提言や私的な政治活動に活用→(例)あらゆる分野の意思決定の場への女性の参画を働きかけるなど
- ② 自分の職場や活動の場での活用→(例)女性管理職の増加、育児休業の取得、働きやすい職場づくりの促進など
- ③ 国内、国際的なネットワークを作り、知見や教訓を共有していく(途上国の市民社会からも学ぶことは多い)

この研修を通して、日本における男女共同参画は、他の先進国と比較するとかなり遅れていることを知り、男女共同参画社会の実現のためには乗り越えなければならない壁がたくさんあることも分かりました。また、SDGsという共通の目標を確認することも出来ました。それと同時に、多くの頼もしい同志にも巡り合うことが出来ました。同じ志を持つ全国の仲間と一緒に、女性が個性と能力を発揮し活躍できる社会の実現に向けて、精一杯頑張ろうと決意を新たにしました。



編集後記

SDGsの目標にも掲げられているように、男女平等は世界的な課題ともいえます。

改善するためには、男性の家事参画やより多くの女性が議会へ参画を進めることも必要です。

家庭や地域からできることは何か考えていかなくてはいけません。

編集委員

今町真由美・大野 恭子・椋島陽一郎
草場 栄美・矢ヶ部ひとみ

※編集委員は、市民の方にご協力いただいております。

発行

「ぼすぽーと」に関する
ご意見・ご感想を
お寄せください。

佐賀市人権・同和政策・男女参画課

〒849-0919

佐賀市兵庫北三丁目8-36 (ほほえみ館内)

TEL 0952-40-7014

FAX 0952-34-4549

URL <http://www.city.saga.lg.jp>

E-mail jinken@city.saga.lg.jp